

まちのわだい



書の部の町長賞を受ける内村愛珠さん

税に関する作品 表彰式

2月5日、国見町の「税に関する作品コンクール」の表彰式が観月台文化センターで行われました。応募作品は書の部、標語の部合わせて497点の応募があり、16人が表彰されました。福島税務署長賞には「書の部」齋藤奈緒さん（県北中）、「標語の部」松浦智美さん（県北中）が選ばれました。受賞作品は、3月17日まで申告会場に展示されています。



いつまでも自分のことは自分で行うために

身体を動かし、 みんなで楽しく筋力アップ

2月6日、ロコモティブシンドロームの予防教室が行われました。教室では、身体を動かす運動、バランス運動のほか二人組になって行う運動もあり、コミュニケーションもとれ笑いが絶えない教室になりました。参加した方からは「運動不足解消になり、良い気分転換になった」「また参加したい」という声があがりました。



大会に向けてガッツポーズ

白熱した県大会 8分×4クォーター！

2月6日、国見町青少年育成町民会議では「第4回福島県中学生バスケットボール選手権大会」に県北地区代表として出場した、県北中学校男子バスケットボール部に対し、岡崎忠昭教育長から奨励金が交付されました。

試合結果は2戦とも惜敗でしたが、レベルの高い大会への出場は、今後の活躍への期待が高まるものでした。



飯舘村民と一緒に新年会に参加する太田久雄町長

合同新年会で 飯舘村民交流

2月6日、飯舘村からの避難者が住む上野台、大木戸仮設住宅の合同新年会が開催され約30の方が参加されました。新年会では、みんなで餅つきを行い、あんこもち、雑煮を食べながら、お互いの近況報告を行いました。また、国見町社会福祉協議会会長の太田久雄町長から各仮設の代表者に使い捨てカイロが贈られました。



大きな笑い声をあげながら「鬼は外」

鬼も一緒に 歌い、笑い、踊りましょう

2月7日、国見の里デイサービスで歓迎会も兼ねた豆まきが行われました。職員によるトーンチャイムの演奏、また365歩のマーチ・鬼のパンツ等の曲を歌いながら手拍子をとるなど新しく入られた方も一緒に楽しみました。最後に鬼が現れると、丸めた新聞紙を元気に投げて今年一年の健康を祈願しました。



太田久雄町長から伝達される妻の佐久間富枝さん

長年の 功績を称えられる

1月30日、約42年間学校教育に貢献され、昨年11月22日に亡くなった故佐久間宗平さんに対する叙勲伝達式が森山字滝東の自宅で行われました。

式では太田久雄町長から、妻の富枝さんに正六位・瑞宝双光章が伝達され「地域の教育発展に多大な貢献された」故佐久間宗平さんを称えました。



堀川哲男病院長の講話

腰痛は 腰だけでなく体全体を見て

1月30日、公立藤田総合病院で元気セミナーが開催されました。演題は「腰痛には姿勢が関係」というテーマで堀川哲男病院長が講師をされました。良い姿勢を保つ事で腰痛が軽減される。その為には体幹筋を鍛えることが大事という事でした。ストレッチ方法を教わると、参加された方々はその場で一緒に実践をしていました。



鬼に目掛けて豆まきをする子どもたち

ちいちゃくても 鬼に負けない元気な子供たち

2月6日、藤田保育所で恒例の豆まきが行われました。初めに園長から豆まきの話を聞き、その後園児60人はお手製のお面をつけて、鬼の絵に向かって豆をぶつけていました。赤鬼、青鬼に扮した先生たちが登場すると泣き出す園児もいましたが、歓声を上げ元気に鬼に立ち向かう園児もいました。泣いていた園児も鬼が、立ち去ると笑顔になりました。



きちんと巻けるかな？

郷土料理を 学び・味わう

2月4日、国見小学校の4年生が婦人会の指導のもと、ちまき体験を行いました。はじめに婦人会会長安田節子さんから端午の節句の由来を紙芝居で説明してもらい、早速調理開始。実際の笹巻き作りは難しく真剣な顔で作っていましたが、出来上がったちまきを食べて「おいしい」と満面の笑顔でした。



自分の気持ちを31文字に

一文字、一文字に 想いを込めて

2月5日、国見町桜のうた実行委員会は第10回桜のうた短歌募集時期に合わせて国見小学校で短歌出前教室を開催しました。桜のうたの選者を務める今野金哉氏を講師に招き、5年生児童に短歌の形式や作るコツなどを教えました。児童たちは自分の感じた事を指折り数えながら、三十一文字にまとめ発表しました。

